

【R 1 8】 ノベル

『羞恥の全裸身体検査』  
～女のコの体験談風短編集～

作：七条右京

私の高校3年の時は、とっても恥ずかしい身体検査でした。

身体検査は、男子が行う日と、女子が行う日と言う様に完全に日にちが分かれていました。

なので、手違いなどで男子と女子が一緒になる様なハプニングは、絶対にありませんでした。

去年までは、女子の身体検査の日は、朝から体操着に着替えて授業を受けます。

校内放送でアナウンスがあると、保健室に移動します。

担任の先生が女の先生だと、担任の先生も一緒に保健室に行きます。

保健室に行くと、体操着の上を全部脱いで、上半身裸になります。

ブラも脱ぐ裸です。

裸にならなくてもいい学校が多い中、私の通学していた学校は、裸にならなくてはならないのです。

おっぱい丸出しで、恥ずかしいです。

このスタイルが去年までの話。

今年から、理事長と校長が変わり、教育方針も若干変わりました。

身体検査も変わるなんて、想像もしていませんでした。

しかも、超恥ずかしい身体検査になるなんて。

女子の身体検査の前日は、男子の身体検査でした。

身体検査を終え、教室に戻って来ると男子達は、

「今年の身体検査、超やべえ」

「超ハズい」

「オワッタ」

「お前、勃って大変だったな」

「お前のちんちん、大きいな」

とか話していました。

私は、おちんちんという言葉が聞こえたので、  
気になって、

私：

「ねえ、身体検査、どうかしたの？」

男子：

「今年の身体検査、やべえぞ」

「パンツも脱がせられて、ちんちん丸出しにさせられて、超恥ずかしかった」

私：

「えっ、うそ～、本当に？」

「おちんちん出したの？」

男子：

「女子がおちんちんって、恥ずかしくないのか？」

私：

「なによ、別にいいじゃない」